



「健康のため水を飲もう川柳」 募集要領

① 「健康のため水を飲もう」推進運動について

「健康のため水を飲もう」推進委員会(委員長=武藤芳照・(一社)東京リハビリテーション総合研究所所長)では、2007年より水分摂取不足による健康障害を未然に防ぐために、こまめな水分補給を習慣づける「健康のため水を飲もう」推進運動(厚生労働省後援)を行っております。

その運動の一環として「飲み水と健康」に関する川柳を募集し、昨年は5,395句ものご応募をいただきました。第5回となる今回も多数のご応募お待ちしております。

② 募集内容

「水と健康」「水とからだ」「水とスポーツ」「水とお酒」「水道水」などをキーワードに、学校や職場、家庭など日常生活の中で感じた、あるいは体験した「飲み水と健康」に関する出来事などに、ユーモアや風刺を取り入れて表現した川柳作品を募集します。

③ 応募資格

一般公募(国内外問わず、どなたでも応募可)

④ 応募方法

(1) <五・七・五>の17音

- ※あくまでも原則。多少の音数の変化(字余り・字足らず)があっても構いません。
- ※川柳は俳句と同じく17音ですが季語などの制約はありません。
- ※小さい文字の取扱い。原則、「いっぱい」「しっかり」などの小文字「っ」は1文字として、「じゃ」「きゅ」などはまとめて1文字としてカウントします。



(参考)第4回入賞作品

<p>5文字</p> <p>奥さんの おくさんの</p>	<p>7文字</p> <p>機嫌と水は きげんとみずは</p>	<p>5文字</p> <p>マメに取れ まめにとれ</p>
<p>5文字</p> <p>改革だ かいかくだ</p>	<p>7文字</p> <p>働き方も はたらきかたも</p>	<p>5文字</p> <p>飲み方も のみかたも</p>
<p>5文字</p> <p>補給して ほきゅうして</p>	<p>8文字</p> <p>体がつぶやく からだがつぶやく</p>	<p>5文字</p> <p>水、いいね! みずいいね!</p>

(2) 応募方法(ホームページ又は郵便ハガキのみ) ※FAX 及び手紙は受け付けません。

【H P】水道産業新聞社ホームページ内「健康のため水を飲もう川柳」応募専用フォームよりご応募ください。

URL <http://www.suidou.co.jp/mizunomo.htm>

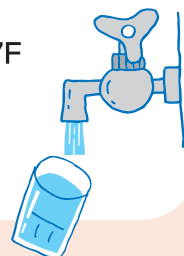
【ハガキ】下記事項を必ず明記の上、郵便ハガキでご応募ください。

①川柳作品、②制作意図、③住所、④氏名(ふりがな)、⑤電話番号、⑥職業

送付先

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-5-2 西新橋第一法規ビル7F
株式会社 水道産業新聞社内「健康のため水を飲もう川柳」係

(3) お一人につき3句まで応募できます。



5 応募期間

令和2年11月20日(金)から令和3年1月15日(金)まで(消印有効)

6 審査

選考委員会(令和3年2月下旬予定)において審査、決定します。

7 賞

【最優秀賞】賞状及び副賞(5万円)×1名

【入選】賞状及び副賞(図書カード1万円分)×3名

※受賞の御連絡の際、受賞の感想をお聞かせします。

8 発表

(株)水道産業新聞社ホームページ、水道産業新聞及び日本水道新聞紙面、委員会委員ホームページ等の広報媒体で発表します。

※作品に加え、住所(都道府県名のみ)、氏名、受賞の感想を発表する予定です。

9 注意事項

- (1) 応募作品は、自作かつ未発表の作品に限ります。
- (2) 作品の制作及び応募に係る費用は、応募者の負担となります。
- (3) 他の作品の模倣等、著作権その他第三者の権利を侵害している、又はその可能性が高いと判断される場合には、選考対象外となります。また、入賞決定後であっても受賞を取消し、賞の返還を求める場合があります。
- (4) 第三者から権利侵害、損害賠償等の主張がなされた場合、受賞者は自己の責任において解決を図るものとし、当委員会は一切の責任を負わないものとします。
- (5) 入賞作品は、氏名を明記の上、本運動の宣伝活動(ポスター等)に無償で使用場合があります。
- (6) 応募により収集する個人情報、この募集に関すること以外には使用しません。

10 主催

「健康のため水を飲もう」推進委員会

11 お問い合わせ先

「健康のため水を飲もう」推進委員会 事務局

株式会社 水道産業新聞社内「健康のため水を飲もう川柳」係

TEL 03-6435-7644 / E-mail mizunomo@suidosangyo.jp

「健康のため水を飲もう」推進委員会委員

(順不同、令和2年11月1日現在)

委員長	武藤 芳照	(一社)東京健康リハビリテーション総合研究所 所長/東京大学名誉教授
副委員長	吉田 永	(公社)日本水道協会 理事長
委員	鷺見 全弘	(公財)日本水泳連盟 常務理事 総務委員長
委員	熊谷 和哉	厚生労働省医薬・生活衛生局 水道課長
委員	福島 美穂	NPO水と健康スポーツ医学研究所 理事長
委員	宮崎 正信	(一社)日本水道工業団体連合会 専務理事
委員	小倉 好正	(公財)日本高等学校野球連盟 事務局長
委員	寺西 新	足立保健所長(全国保健所長会)
委員	西原 一裕	水道産業新聞社 代表取締役社長
委員	磯部 光徳	日本水道新聞社 取締役 新聞事業部長

